

平成 2 8 年 度 同 好 会 事 業 報 告

算数数学 同好会 世話係名 宮坂俊之 会長名 岡部温樹

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参加人員
5月2日	第1回同好会 発足会・世話係会長会	1 5
6月17日	第2回同好会 ・関数分野の小中学校のつながりについて	6
7月8日	第3回同好会 ・小6単元テスト作成「比例と反比例」	5
8月1日	夏期講習会（算数数学研究委員会と合同開催） ・小6単元テスト作成「比例と反比例」 ・研究委員会本時案検討 ・東京学芸大学名誉教授 杉山吉茂先生 講演会	2 0
8月7日	夏の研修会参加（県算数数学教育研究会）	3
9月9日	・小6単元テスト作成「比例と反比例」	5
11月4日	県算数数学教育研究（安曇野）大会参加 ・レポート発表	3
11月11日	北信ブロック（飯水）大会参加	4
1月7日	冬の研修会参加（県算数数学教育研究会）	3

今年度、算数数学同好会では、算数数学研究委員会と合同で夏期講習会を行いました。また、長野県算数数学教育研究会で取り組んでいる単元テスト作成のため、小6「比例反比例」の単元について定期的に研修を行いました。

夏期講習会では、研究委員会の本時案検討、単元テスト検討、東京学芸大学名誉教授 杉山吉茂先生の講演会を企画しました。杉山吉茂先生には本時案検討、単元テスト検討にも加わっていただきました。研究委員会の本時案検討では、「平行四辺形になる条件」を学習する場面で、どうすれば証明する必要感をもたせられるかということをおグループで考えました。その後の講演会では、杉山吉茂先生から、「算数・数学の指導のあり方を考える2」と題してお話しいただきました。本時案検討の学習場面「平行四辺形になる条件」を授業で生徒に考えさせたければ、まず教師が様々な組

み合わせで平行四辺形になるかやってみるべきだ、と指摘していただきました。また、「比例反比例」の単元テスト作成については、評価問題にも「問題解決に比例や反比例を利用するものを取り入れ、問題解決に数学を活用したい」と示唆していただきました。更に、昨年に引き続き「関数」を利用するよさ・「関数の考え」についてお話いただきました。「関数」分野は苦手な生徒が多く、日常の場面を「一次関数」とみて課題を解決する便利さや「関数の考え」を使って問題解決する楽しさを、具体的な場面で教えていただき、授業の中でぜひ生徒に伝えていきたいと感じました。

長野県算数数学教育研究（安曇野）大会のレポート発表では、昨年度北信ブロック大会で行った中学一年「変化と対応」の授業について、研究グループを代表し、清水あかね先生に発表をしていただきました。

今後も、算数・数学の楽しさを実感し、子どもたちに伝えたい研修の場となりますようご協力をお願いいたします。（会長 岡部 温樹）